

一般質問発言通告書

発言順位 11番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年 11月 28日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員

5番 鈴木 文子

質問事項1	不登校等児童生徒の支援について
具体的内容	
<p>小中学校の不登校児が過去最多を更新する中、児童生徒への具体的な支援と共に、子どもたちを支える保護者への相談支援や情報提供、不登校児の親の相互交流の場などの支援を充実させていくべきと考える。また、「教育機会確保法」には、不登校児の学校以外での多様な学びも支援するように明記されている。</p>	
<ol style="list-style-type: none">1 本市の現状と課題について2 居場所と学びの場として、メタバース（仮想空間）教室の開設について3 保護者への支援について4 フリースクールの利用料を一部補助する制度創設について	
質問事項2	「こども誰でも通園制度」について
具体的内容	
<p>保護者の育児負担を軽減し、保育園に通っていない生後6か月～2歳の未就園児に対しても、より良い成育環境を提供することは重要。こども家庭庁は10日、保護者が就労していなくても保育園などを利用できる「こども誰でも通園制度」の2025年度以降、本格導入に向け、全国の150市町村で新たなモデル事業を行うと発表した。子どもの成長にとって家庭以外での経験も大切。一方、子育てに不安や悩みを抱え孤立を感じながら奮闘している保護者も少なくない。</p>	
<ol style="list-style-type: none">1 「こども誰でも通園制度」に対して本市の認識について2 導入時期について3 本格導入に向けた課題等について4 保護者がスマートフォンなどで簡単に予約できるシステムづくりについて	
質問事項3	乳幼児健診の拡充について
具体的内容	
<p>乳幼児健診は、身体の発育状況や栄養状態、病気などの有無、頭部の形状の確認、虫歯や歯並び、発達障がいなど、子どもの心身の異常の早期発見につながるだけでなく、保護者が育児の悩みを相談し必要な支援につながる機会ともなっている。これまでは乳児期5か月・10か月児健診、幼児期1歳半・3歳児健診の4回実施している。</p> <p>新たに、「1か月児健診」と「5歳児健診」を加え、乳幼児健診の拡充を図るべきと考える。 (国は2023年度補正予算の成立後、開始期間を準備が整った自治体からと示している。)</p>	
<ol style="list-style-type: none">1 本市の拡充への認識について2 課題と取り組みについて	